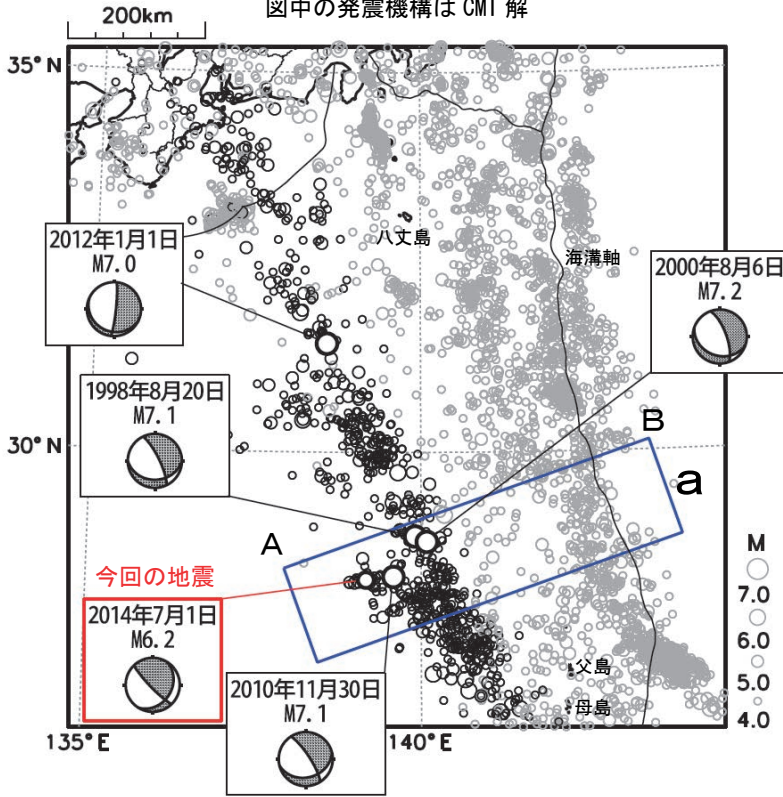


7 月 1 日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2014 年 7 月 31 日、
深さ 0～600km、 $M \geq 4.0$)
深さ 300km 以深の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

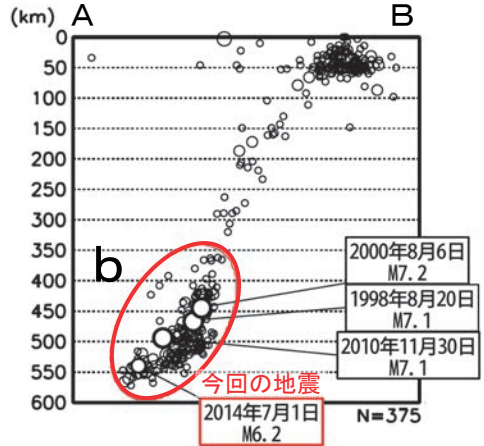


2014 年 7 月 1 日 04 時 55 分に小笠原諸島西方沖の深さ 539km で $M6.2$ の地震 (最大震度 1) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は、太平洋プレートの傾斜方向に圧力軸を持つ型である。

今回の地震の震源付近 (領域 b) は地震活動が活発な領域であり、1997 年 10 月以降の活動を見ると、 $M7.0$ を超える地震が 3 回発生している。

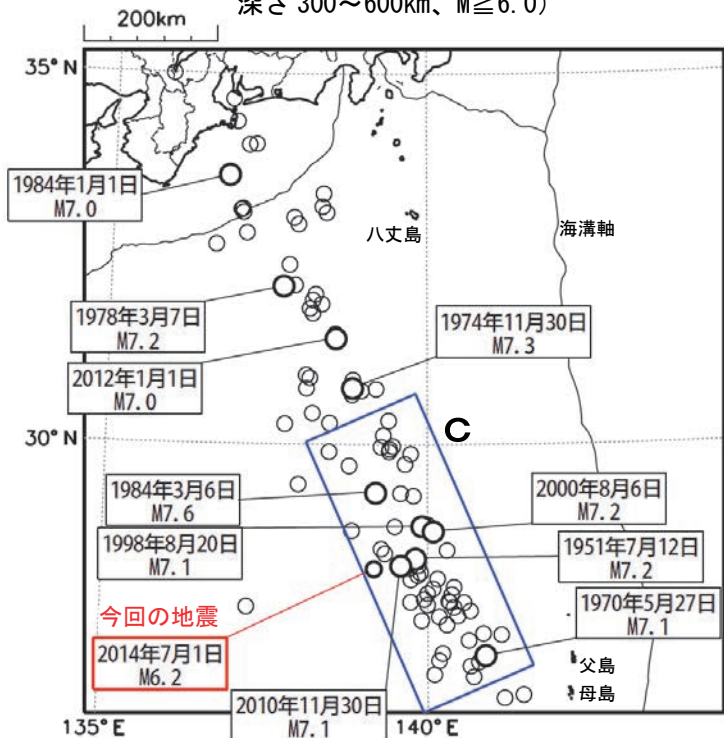
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M7.0$ を超える地震が時々発生している。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

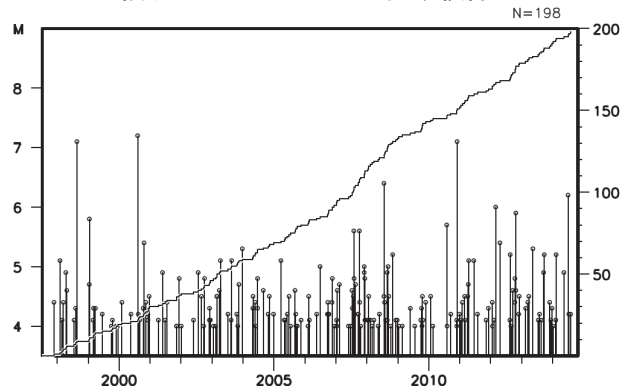


震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2014 年 7 月 31 日、
深さ 300～600km、 $M \geq 6.0$)



領域 b 内の M-T 図と回数積算図



領域 c 内の M-T 図

